

## News Release

韓国プレスリリース意訳

2019年5月21日

**「THE NEXEN univerCITY」グランドオープン**

(SEOUL, South Korea, April 30 2019)

ネクセンタイヤは、今後の成長の原動力となる「THE NEXEN univerCITY」のグランドオープニングセレモニーを、2019年4月30日に開催したと発表しました。

ネクセンタイヤは、ソウルのマゴク工業団地に2年間にわたり約2,000億ウォンを投資し、地上8階地下2階建て57,000平方メートル超の「THE NEXEN univerCITY」を開発しました。中央研究所とビジネス複合体が一体化した、ネクセンタイヤの成長を象徴する施設となっています。

ワークスペースは、集中力とチームワークのために最適化されたオープンイノベーション空間として設計されました。また、よりスマートな技術を切り開くための研究開発（R&D）センター、タイヤと車両のマッチングを評価する性能研究センター、そしてゴムおよび多様な材料のナノ領域とマクロ領域を分析/研究する素材研究センターなど、多様な研究施設を取り揃えています。

ネクセンタイヤはこれら施設の設立を通じて、急速に変化する市場ならびに世界の自動車メーカーからの厳しい要求にいち早く対応し、そして更に研究開発能力を向上させる方針です。また、ヤンサン(梁山)、チャンニョン(昌寧)、ドイツ、チェコ共和国、アメリカ、中国にあるグローバル研究開発センターを統合管理する研究開発ハブとしても機能します。

緑地に囲まれた中庭と多重らせん形グリーンルーフは、社員同士のコミュニケーションと協業に焦点を当てたネクセンタイヤの企業文化を盛り込んだ「THE NEXEN univerCITY」の中心空間です。

さらに、施設の外観はタイヤトレッドパターンで具体化されています。ロビーには、幅30メートル、高さ7メートルの壮大なメディアウォールが配置され、「THE NEXEN univerCITY」のクリエイティブで芸術的なコンセプトが、映像を通して表現されます。また、太陽光発電システム、地熱を利用した冷暖房設備、屋上緑化による熱損失の低減などで設計されたエコビルとして、Korea Energy Agencyから建築物エネルギー効率評価1等級を受けました。



一方、今年で創立77周年を迎えたネクセンタイヤは、昨年の欧州と米国の研究開発センターの新築拡張、チェコ共和国での工場稼働に続き、この中央研究所を開設することによって、「Global NEXEN」に向けた成長のためのインフラを確立することとなりました。

